

令和7年9月16日

報道機関各位

長岡市商工部産業支援課長



越後与板打刃物の後継者2人が独り立ち 伝統工芸後継者育成事業の完了を市長に報告

越後与板打刃物組合は、越後与板打刃物^{*}を製造する鍛冶職人の減少や高齢化に伴う後継者不足の課題解決のため、長岡市伝統工芸後継者育成支援事業補助金を利用して後継者育成に尽力してきました。

このたび、5年間にわたる修行を終えた後継者2人が独り立ちするにあたり、長岡市長に育成事業の成果などを報告します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

伝統工芸後継者育成事業 市長報告

1 日時 9月19日（金）午後3時～3時30分

2 会場 アオーレ長岡東棟4階 第一応接室
（長岡市大手通1-4-10）

3 訪問者 【中野鉋製作所】

後継者 島田 拓弥（製品：鉦（ちょうな）、小鉋（こがんな））

師匠 中野 武夫 ※当日都合により欠席

【水野鉋製作所】

後継者 似鳥 透（製品：鑿（のみ）、鉞（まさかり））

師匠 水野 清介



4 内容 （1）伝統工芸後継者育成事業の完了報告とお礼
（2）製品紹介と今後の抱負

※ 越後与板打刃物

長岡市与板町で生産される刃物（主に大工道具）で、越後与板打刃物は昭和61年に経済産業大臣による「伝統的工芸品」に指定されました。与板独自の鉋の二本付け、鑿の二本どりなどの製法や、ペーパー車を使った研磨などが特徴です。技術を生かして包丁やナイフなども製造しています。

問い合わせ：産業支援課 早川
TEL 0258-39-2222